

## 令和元年度の発掘調査

埋蔵文化財調査センターでは、毎年、高速道路建設や河川改修などの開発事業に先立って数多くの遺跡の発掘調査を実施しています。そのほか、県内の重要な遺跡の規模や詳しい内容を確認するための調査も行っています。

今年度は、主に以下の遺跡の発掘調査を実施する計画です。



令和元年度 発掘調査箇所位置図

## 令和元年度発掘調査遺跡一覧

(令和元年5月1日現在)

調査事業	遺跡名	所在地	年代	遺跡の内容	調査予定期間
大橋川河川改修事業に伴う発掘調査	朝酌矢田Ⅱ遺跡	松江市朝酌町	古墳時代～古代	大橋川左岸に立地する古墳時代から古代の集落跡	6月～11月
大橋川河川改修事業に伴う発掘調査	若宮谷遺跡	松江市朝酌町	弥生時代～古代	大橋川左岸に立地する弥生時代から古代の集落跡	6月～10月
江の川河川改修事業に伴う発掘調査	森原上ノ原遺跡	江津市松川町	縄文時代～中世	江の川右岸に立地する古墳時代から中世の集落跡	6月～12月
一般国道9号三隅益田道路改築に伴う発掘調査	国ヶ峠遺跡	益田市西平原町	古墳時代	鎌手地区の丘陵に立地する横穴式石室	9月～11月
国道432号（大庭バイパス）建設に伴う発掘調査	下黒田Ⅱ遺跡	松江市大庭町	古代	意宇平野西側段丘上に立地する古代の集落跡	5月～9月
古代文化の郷“出雲”調査事業	史跡出雲国府跡	松江市大草町	古代	意宇平野南側に立地する古代の役所跡	6月～11月
古代文化基礎研究事業	西百塚山古墳群	松江市大草町	古墳時代	意宇平野南側丘陵に立地する直径49mの円墳	5月